
ひまつぶし 2

石井高橋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひまつぶし2

【Nコード】

N2086Y

【作者名】

石井高橋

【あらすじ】

ひまつぶししりーずその2

連載が進んで、消すなどいわれなかったら、連載が4話になったら消しますひまつぶしの方もおなじ

新入社員の文房具たちです

「みろよ、あの鉛筆すっげーちっちゃいぜ、もうすぐ寿命で死ぬんじゃないの」

「あっちの消しゴムもチビだぜ、ヨボヨボのババアだ」

「ああなっちゃおしまいだな、もうだめだろ」

「まったくだな、年は取りたくないもんだ」

げらげらともう退社する老人たちをばかにします

老人たちはなにも答えず、仕事をしています
それを他の人たちも注意をしますが、またか
といった目でみていました
しかしその目は、老人たちへの尊敬で満ちています

新入社員の初めての仕事の日がやってきました

「いたいたいいいちあいたいちああいたいいたい
削られる鉛筆の声です

「あちあっちちつあうたううつあううたあううつたううつつええあ
つい」

擦られる消しゴムの叫びです

「歯がああああああ・・・あああ・・・あああああああ
物をきるハサミの悲鳴です

「ごふっ・・・もう無理・・・無理だって、いやあああああああ
あああああ」

穴に無理やり入れられる鉛筆削りの泣き声です

みんなそれぞれ大声をあげて仕事をしています

新入社員の文房具たちは、静かに仕事をしていた老人たちを思い出
し、

その偉大さを、知りました

(後書き)

今日の午後あたりに連載のほうを投稿します

見てくれたかた、ありがとうございます

駄文ですみません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2086y/>

ひまつぶし2

2011年11月4日10時15分発行